

6-3

市民との協働による
防災体制の充実



目次

ちくごコミュニティ無線運用事務	1
消防団車庫メンテナンス事業	3
消防団車庫整備事業	4
第4分団車庫建設事業	5
消防団車両購入事業	7

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 73 事務事業名 ちくごコミュニティ無線運用事務

部 総務部

担当部署 地域支援課地域づくり支援係

事務区分 自治事務

施策体系

政策 6 協働によるまちづくり

施策 3 市民との協働による防災体制の充実

上位施策のねらい
住民、地域、行政の防災体制が整備され、災害時の市民の生命・身体・財産が守られている。

基本事業 防災・災害情報機能の充実

根拠法令・要綱等	ちくごコミュニティ無線管理運用規程	作成日	平成25年 7月19日
		事業開始	平成19年度
		事業終了	

必要度合 **市民の生命・財産・権利を擁護、不安解消**

1. 事務事業の目的、指標等

類似事務事業

ふくおかコミュニティ無線整備事業 一般防災事業

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

（勘）九州移動無線センターが運用する800MHz帯デジタルMCA陸上移動通信システムを活用し、防災情報（災害予知、災害発生、避難所開設、避難勧告、避難指示等）、国民保護情報（武力攻撃事態等の警報、避難指示等）、重要な行政情報等を市が発信することで、市民が情報を入手する。行政区が地域単位でコミュニティ情報を発信することで、区民が情報を入手する。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	市民		

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

- ①消防本部に設置した管理移動局から市内88箇所（16箇所）に設置した固定子局、8局の移動子局に対して、一斉（場合によっては特定して）に防災、国民保護に関する情報及び重要な行政情報を発信する。また固定子局に装備した拡声器から、音声によって周辺住民に対して情報を伝達する。
- ②災害時等において、電話回線が不通となった場合、各局間で交信する。
- ③各行政区において固定子局に設置した拡声器により、その地域に限定した地域情報を伝達する。
- ④無線設備を適切に管理する。
- ⑤22年度に整備した「全国瞬時警報システム」との連携により、緊急地震速報や気象情報、国民保護情報を人を介さず瞬時に市民に伝えることができる。

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画
計画	無線利用等				無線利用等 第二期改修計画 （一部地区16箇所の改修） （避難勧告等発令対象区域の改修・増設） 戸別受信機第一期導入工事			
	無線利用等					無線利用等 第二期改修計画 （一部地区16箇所の改修・増設） 戸別受信機第二期導入工事 親機PO更新		
年度別計画	無線利用等							
	無線利用等							
ア	予算額・決算額	千円						
	国・県支出金	0	21,801	29,226	36,426	6,926	6,926	6,926
	その他財源	0	0	7,505	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	3,345	21,801	21,721	36,426	6,926	6,926	6,926
イ	従事者数(正規)	人	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ	従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	5,472	23,928	31,353	38,553	9,053	9,053
ク	成果指標①	%	24.50	26.80	30.00	35.00	35.00	40.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ	活動指標①	回	51.00	64.00	75.00	75.00	75.00	75.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ	活動1件当たりコスト	千円	65.5	340.6	389.6	485.6	92.3	92.3

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 73 事務事業名 ちくごコミュニティ無線運用事務

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	東日本大震災、福岡県西方沖地震及び台風や水害等の発生、また、諸外国からのミサイル発射等により、市民の防災・有事意識が高まっている。その中でも、これらの情報の迅速な提供を求める声が高い。情報提供が不十分であれば、災害等の被害が拡大したり、市民に不安を抱かせたりする恐れがある。
--------------------------------------	---

4. 評価

ア必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	大
	災害等が発生した場合、その内容も含めた情報を一斉に伝達するためまた、緊急時（行方不明者捜査等）には同報系無線が必要である。		
イ公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地あり		
	ほぼ全市をカバーするように子局を配置しているが、地理的条件や風向きなどによっては、音声が届かない場所がある。		
ウ有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地あり	成果向上の余地	大
	従来の広報車を使った情報伝達に比べ、伝達に要する時間や明瞭性が格段に向上しているが、天候や風向き等によっては聞き取れないこともあるため、スピーカーを高く設置したり戸別受信機の導入を行う。		
エ効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	有
	情報伝達に要する人手はほとんどかからないが、機器の保守点検や無線利用料などのコストが必要である。		

5. 総合評価

ア 総合評価

課長 城戸 淳一

イ 前回評価後の改善内容

事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上</td> <td><input type="checkbox"/> 期間変更</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果維持</td> <td><input type="checkbox"/> 手段改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 成果減少</td> <td></td> </tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更	<input type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善	<input type="checkbox"/> 成果減少		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">改善案の進捗実施状況</td> <td>子局の改修工事については、7月の災害を受け、当初計画を変更し、矢部川流域の設備から順次工事を開始した。</td> </tr> </table> <p>ウ 今後の具体的な対応策、実施案</p> <p>コミュニティ無線の有効活用を図るため、運用方法の改善や設備の改修を進めていく。また、戸別受信機の導入や携帯電話への情報発信など、情報発信の多様化を進めていく。</p>	改善案の進捗実施状況	子局の改修工事については、7月の災害を受け、当初計画を変更し、矢部川流域の設備から順次工事を開始した。
<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上	<input type="checkbox"/> 期間変更								
<input type="checkbox"/> 成果維持	<input type="checkbox"/> 手段改善								
<input type="checkbox"/> 成果減少									
改善案の進捗実施状況	子局の改修工事については、7月の災害を受け、当初計画を変更し、矢部川流域の設備から順次工事を開始した。								
次年度の投入資源 事業費 <u>拡大</u>									

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 501

事務事業名 消防団車庫メンテナンス事業

部 消防
 担当部署 消防総務課消防団係
 施策体系
 政策 6 協働によるまちづくり
 施策 3 市民との協働による防災体制の充実

費用便益結果 → 数値
 事業開始の経緯
 根拠法令要綱等
 作成日 平成25年 7月19日
 事業開始 平成16年度
 事業終了
 必要度合 市民の生命・財産・権利を擁護、不安解消

基本事業 消防団の充実強化

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
災害等への参集人員数	人		
計算式		基準値	目標値
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値

1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果（整備後、供用後）	消防団の車両車庫を常に良好な状態に保つことで機能的、効果的な活動が可能になる。また、消防防災の拠点として、普及啓発的意義を持つ。
②利害関係者	
③成果に影響のある外部要因	消防団の規模縮小。 消防団員の高齢化。 災害等の増減。 合併による消防団の再組織。
④整備内容・整備期間、規模・整備総事業費など	消防団車庫の老朽化等による改築や移転、故障等の修繕、補修の実施。
⑤関連事業	消防団車両更新維持管理事務

2. 事業の進捗状況

		平成23年度	平成24年度						
① 整備計画	① 車庫修理								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
② 実績	① 車庫修理								
	②								
	③								
	④								
	⑤								

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 501

事務事業名 消防団車庫メンテナンス事業

コスト、実績の推移

	23年度決算	24年度決算						
③予算額・決算額	千円 622	0						
国・県支出金	千円 0	0						
その他財源	千円 0	0						
地方債	千円 0	0						
一般財源	千円 622	0						
④従事者数(正規)	人 0.55	0.55						
⑤年平均給与額	千円 6,646	6,646						
⑥従事者数(再任用等)	人 0.00	0.00						
⑦年平均給与額	千円 2,544	2,544						
⑧従事者数(臨時等)	人 0.00	0.00						
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円 3,655	3,655						
⑩総コスト(③+⑨)	千円 4,277	3,655						
成果指標①	人 0.00	0.00						
②	0.00	0.00						
③	0.00	0.00						
④	0.00	0.00						

3. 環境変化と評価

環境変化	耐震構造を満たしていない消防団車庫、老朽化車庫が存在するため、「消防団車庫整備事業」と並行し更新計画を定め予算計上をしていく	②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか 薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を
①進捗状況は予定どおりか	あまり順調でない 上位施策への貢献度 大 順調でない場合はその理由を 防災拠点施設として、耐震構造を満たしていない車庫があり、更新計画に基づき、計画の遅れが無いように事業を進めていく	③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか 余地はない コスト削減余地 無 ない場合は理由を、ある場合は内容を

4. 総合評価

ア 総合評価	課長	イ. 前回評価後の改善進捗状況 今年度も、消防団車庫の更新計画に基づき防災拠点施設としてトイレが設置されていない車庫について優先的に改善した。補正予算にて、第4分団車庫についても着工していたが工期の都合により平成25年6月に完成予定。
事業(成果)の方向性	<input type="checkbox"/> 休廃止 終期 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業 事業コード503 消防団車両・車庫メンテナンス事業に統合 <input type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>	ウ. 今後の具体的な対応策、実施案
次年度の投入資源	事業費	
総事業費	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小	

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 508

事務事業名 消防団車庫整備事業

部 消防
 担当部署 消防総務課消防団係
 施策体系
 政策 6 協働によるまちづくり
 施策 3 市民との協働による防災体制の充実

費用便益結果 → 数値
 根拠法令要綱等
 作成日 平成25年10月15日
 事業開始 平成16年度
 事業終了 平成26年度
 必要度合 市民の生命・財産・権利を擁護、不安解消

事業開始の経緯
 地元行政区長等からの陳情。更新計画

基本事業 消防団の充実強化

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
消防団車庫整備進捗率	%		
計算式		基準値	目標値
整備完了箇所数 / 整備計画箇所数			
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値

1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果（整備後、供用後）	消防団車庫の新築等を行うことで、消防防災の拠点として、機能的、効果的な活動が可能となる。また、地域防災の拠点として存在することにより、消防防災の普及啓発的意義を持つようになる。
②利害関係者	市民
③成果に影響のある外部要因	消防団の規模縮小。 消防団員の高齢化。 災害等の増減。 合併による消防団の再組織。
④整備内容 ・整備期間、規模 ・整備総事業費など	●平成19年度5分団1号車（新設整備） ○平成22年度1分団3号車（新設） ○平成23年度5分団2号車（改修） ○平成24年度4分団1号車（整備計画） ○" 3分団2号車（改修計画） ○" 6分団2号車（改修計画） ○平成26年度1分団2号車（整備計画）
⑤関連事業	消防団車両更新維持管理事務

2. 事業の進捗状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度				
① 整備計画	① 5分団1号車車庫整備							
	② 4分団1号車車庫建設							
	③ 3分団1号車							
	④ 6分団2号車							
	⑤ 1分団2号車運用							
② 実績	① 5分団1号車車庫整備							
	② 4分団1号車車庫建設							
	③ 3分団1号車							
	④ 6分団2号車							
	⑤ 1分団2号車運用							

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 508

事務事業名 消防団車庫整備事業

コスト、実績の推移	23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画				
③予算額・決算額	千円 1,365	17,104	100	19,800				
国・県支出金	千円 0	0	0	0				
その他財源	千円 0	0	0	0				
地方債	千円 0	0	0	0				
一般財源	千円 1,365	17,104	100	19,800				
④従事者数(正規)	人 0.50	0.50	0.00	0.50				
⑤年平均給与額	千円 6,646	6,646	6,646	6,646				
⑥従事者数(再任用等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00				
⑦年平均給与額	千円 2,544	2,544	2,544	2,544				
⑧従事者数(臨時等)	人 0.00	0.00	0.00	0.00				
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円 3,323	3,323	0	3,323				
⑩総コスト(③+⑨)	千円 4,688	20,427	100	23,123				
成果指標①	% 0.00	0.00	0.00	0.00				
②	0.00	0.00	0.00	0.00				
③	0.00	0.00	0.00	0.00				
④	0.00	0.00	0.00	0.00				

3. 環境変化と評価

環境変化	災害出動等の初動体制が構築され、地域防災拠点が整備されたことにより、地域防災力の向上が期待される。	②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか 薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を
①進捗状況は予定どおりか	あまり順調でない 上位施策への貢献度 大 順調でない場合はその理由を 住民説明等しっかりと実施していく必要があり、しっかりとした施行管理が必要である。1分団2号車についても補正予算等、しっかりとしたマネジメントが必要である。	③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか 余地はない コスト削減余地 無 ない場合は理由を、ある場合は内容を

4. 総合評価

ア 総合評価	課長	イ. 前回評価後の改善進捗状況 消防団車庫更新計画に基づき地域の防災拠点施設として改築等進めてきた。4分団車庫についても着工しており平成25年6月に完成予定。1分団2号車についても早急に計画を進めていく必要がある。
事業(成果)の方向性		ウ. 今後の具体的な対応策、実施案 第1分団2号車車庫建替について、平成25年度補正により、用地の取得・設計・測量・造成までを行い、平成26年度建築を行う。
<input type="checkbox"/> 休廃止 終期 平成26年度において、1分団2号車車庫の建替が終了すれば、当分の間休止。		
<input type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>		
次年度の投入資源 事業費 拡大		
総事業費 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小		

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 508

事務事業名 第4分団車庫建設事業

部 消防
 担当部署 消防総務課消防団係
 施策体系
 政策 6 協働によるまちづくり
 施策 3 市民との協働による防災体制の充実

費用便益結果 → 数値
 根拠法令要綱等
 作成日 平成25年 7月19日
 事業開始 平成24年度
 事業終了
 必要度合 市民の生命・財産・権利を擁護、不安解消

事業開始の経緯

基本事業 消防団の充実強化

成果指標名①	単位	基準年度	目標年度
計算式		平成24	
		基準値	目標値
成果指標名②	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名③	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値
成果指標名④	単位	基準年度	目標年度
計算式		基準値	目標値

1. 事務事業の現状、目的、成果等

①事業のねらい・成果 (整備後、供用後)	第4分団車庫（古川校区）において老朽化、耐震構造を満たしていない等により、防災拠点施設として、市民の安心安全を図ることが困難。よって新たに建て替えが必要。費用については土地取得費用・車庫建設費用が必要
②利害関係者	
③成果に影響のある外部要因	
④整備内容 ・整備期間、規模 ・整備総事業費など	
⑤関連事業	

2. 事業の進捗状況

	平成23年度	平成24年度	平成25年度						
① 整備計画	① 土地取得								
	② 車庫建築								
	③								
	④								
	⑤								
② 実績	① 土地取得								
	② 車庫建築								
	③								
	④								
	⑤								

平成25年度継続事務事業評価表（ハード）

ID 508

事務事業名 第4分団車庫建設事業

コスト、実績の推移

	23年度決算	24年度決算	25年度予算						
③予算額・決算額	千円 0	17,104	0						
国・県支出金	千円 0	0	0						
その他財源	千円 0	0	0						
地方債	千円 0	0	0						
一般財源	千円 0	17,104	0						
④従事者数(正規)	人 0.00	0.00	0.00						
⑤年平均給与額	千円 6,646	6,646	0						
⑥従事者数(再任用等)	人 0.00	0.00	0.00						
⑦年平均給与額	千円 2,544	2,544	0						
⑧従事者数(臨時等)	人 0.00	0.00	0.00						
⑨人件費(④*⑤+⑥*⑦)	千円 0	0	0						
⑩総コスト(③+⑨)	千円 0	17,104	0						
成果指標①	0.00	0.00	0.00						
②	0.00	0.00	0.00						
③	0.00	0.00	0.00						
④	0.00	0.00	0.00						

3. 環境変化と評価

環境変化		②環境変化を踏まえ当初の役割が薄れていないか	薄れていない 薄れていない場合は理由を、見直す場合にはその内容を
①進捗状況は予定どおりか	あまり順調でない 上位施策への貢献度 大 順調でない場合はその理由を 住民説明等しっかりとした施工管理が必要である。	③現在の実施方法を見直し、もっと効率的・低コストでできる余地はないか	余地はない コスト削減余地 有 ない場合は理由を、ある場合は内容を

4. 総合評価

ア 総合評価	課長	イ. 前回評価後の改善進捗状況
事業(成果)の方向性		平成24年度の補正予算により着工しているものの完成には至っていない平成25年6月に完成予定であり、しっかりとした施工管理が必要である。
<input type="checkbox"/> 休廃止 終期		ウ. 今後の具体的な対応策、実施案
<input checked="" type="checkbox"/> 統合 統合する事務事業 事業コード508 消防団車庫整備事業に統合		
<input type="checkbox"/> 継続 成果向上 <input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/>		
成果維持 <input type="checkbox"/>		
成果減少 <input type="checkbox"/> 手段改善 <input type="checkbox"/>		
次年度の投入資源 事業費		
総事業費 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小		

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 906 事務事業名 消防団車両購入事業

部 消防

担当部署 消防総務課消防団係

事務区分 自治事務

根拠法令・要綱等	消防組織法	作成日	平成25年 8月 9日
		事業開始	平成16年度
		事業終了	

必要度合 **市民の生命・財産・権利を擁護、不安解消**

1. 事務事業の目的、指標等 類似事務事業

消防団車両・車庫メンテナンス事業

事業立案のねらい（何・誰をどのような状態にしたいのか）

車両の老朽化に伴う、災害等の活動水準の低下や災害活動従事者の二次災害などのマイナス要素の発生を防ぐ。また、災害活動効率を向上させる。

事業を取り巻く関係者	事業の受益者	事業の利害関係者	その他関係団体
	筑後市民	消防資機材業者	

実施内容（年度別に異なる場合は分かるように）

23年度：2分団1号車・4分団1号車
 24年度：5分団2号車・7分団1号車
 26年度：1分団2号車・3分団2号車
 27年度：2分団2号車・6分団2号車
 31年度：1分団1号車・3分団1号車

施策体系

政策	6 協働によるまちづくり
施策	3 市民との協働による防災体制の充実

上位施策のねらい
 住民、地域、行政の防災体制が整備され、災害時の市民の生命・身体・財産が守られている。

基本事業 消防団の充実強化

成果指標名①	単位
災害時に分団車両が出動出来なかった件数	件/年
計算式	年度実績より（0件維持が目標）
成果指標名②	単位
計算式	
成果指標名③	単位
計算式	
成果指標名④	単位
計算式	
活動指標名①	単位
活動指標名②	単位
活動指標名③	単位
活動指標名④	単位

2. コスト、実績の推移

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	26年度計画	27年度計画	28年度計画	29年度計画	
計画	年度別計画	2分団1号車購入 4分団1号車購入	7分団1号車購入 5分団2号車購入	なし	1分団2号車購入 3分団2号車購入	2分団2号車購入 6分団2号車購入	なし		
	実績		7分団1号車購入 5分団2号車購入						
ア	予算額・決算額	千円	33,656	33,558	0	36,000	36,000	0	0
	国・県支出金		0	0	0	0	0	0	0
	その他財源		0	0	0	0	0	0	0
	地方債		0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		33,656	33,558	0	36,000	36,000	0	0
イ	従事者数(正規)	人	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.00	0.00
ウ	年平均給与額	千円	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646	6,646
エ	従事者数(再任用等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
オ	年平均給与額	千円	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544	2,544
カ	従事者数(臨時等)	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
キ	総コスト(ア+イ*ウ+エ*オ)	千円	35,982	35,884	2,326	38,326	38,326	0	0
ク	成果指標①	件/年	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ケ	活動指標①		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	②		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	③		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	④		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コ	活動1件当たりコスト	千円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

平成25年度継続事務事業評価表（ソフト）

ID 906 事務事業名 消防団車両購入事業

3. 環境変化

事務事業を取り巻く環境が変化していないかこのまま推移すると懸念されること	消防団車両の更新については、従来17年～18年で更新していたが、財政状況及び消防団車庫の整備等により更新計画が遅れ気味である。23年度より車両整備20年を目途に計画している
--------------------------------------	--

4. 評価

ア 必要性 依然として市が行う必要があるか。民間に任せられないか	見直し余地なし	上位施策貢献度	中
	20年使用するため、メンテナンスは必要に応じて実施しているが、機械の故障が目立ち災害発生時の迅速な対応や安全性の担保、また、団員の心的不安が大きい		
イ 公平性 受益者層は妥当か 受益者負担見直しの余地はあるか	見直し余地なし		
ウ 有効性 成果向上につながっているか。成果は順調に出ているか。改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	成果向上の余地	中
エ 効率性 効率的といえるか 改善見直しの余地はないか	見直し余地なし	コスト削減余地	無

5. 総合評価

ア 総合評価	課長	イ 前回評価後の改善内容
事業（成果）の方向性 <input type="checkbox"/> 休廃止 終期 _____ <input type="checkbox"/> 統合 統合事務事業 _____ <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 成果維持 <input type="checkbox"/> 成果減少	<input type="checkbox"/> 期間変更 <input type="checkbox"/> 手段改善	改善案の進捗実施状況 20年を目安に更新している（メーカー公表15年） 2台の消防団車両が該当していたため更新計画に基づき改善した。
次年度の投入資源 事業費 <u>拡大</u>		ウ 今後の具体的な対応策、実施案 購入後20年を経過した車両については、順次更新をしていくことにより、現有消防力を維持していく。